

製薬・医薬品 個別症例安全性報告EDIツール
～E2B/M2対応標準的暗号化ツール～
『Axway Interchange/Activator』

**EDIツールにかかっているコストを見直してみませんか？
E2B(R3)対応に向けてご準備されている中で貴社のTCO削減に貢献
致します！**

Axwayと弊社の強み

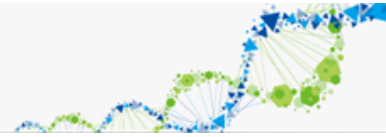
1. お手頃価格で高い品質のCSVサービスをご提供
2. 当局との相性バッチリ
3. 万全のサポート体制

本WebセミナーではAxway社が提供するE2B/M2対応標準的暗号化ツール「Axway Interchange/Activator」の機能概要説明と他社製品との違いを含めご説明させていただきます。

是非この機会にご参加ください。

Axway製品紹介ページ

http://www.ctcls.co.jp/products/axway/axway_interchange.html



1. Axwayのご紹介と世界での利用状況

Axway Interchangeは個別症例安全性報告の電子的伝送ツール（EDIシステム）です。

日本、米国、欧州におけるE2B/M2対応の標準的暗号化ツールとして、各当局（PMDA/FDA/EMA）のEDIシステムは「Axway Interchange」が採用されております。

各当局と同じEDIツールを利用する事で安全、かつ確実な個別症例安全性報告を実現することが可能です。

Axway Interchangeは規制当局（提携企業も可）とのISCR/ACKファイルの伝送を行います。アラートメールを利用し、伝送時のエラー検出や電子証明書の特定期間切れ等を自動的に監視します。

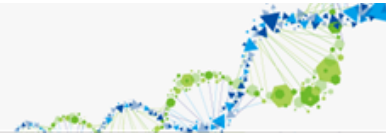
2. 日本のE2B(R3)に完全対応

E2B(R2)で利用していたAS1、E2B(R3)で新規に採用されたAS2にも完全対応しております。日本規制当局（PMDA）との大規模テストに参加し、AS1・AS2ともに合格しております。

3. CTCLSとしてのサービスのご案内

導入・運用支援体制

過去10年以上にわたり、製薬会社のEDIシステムの導入・運用実績あり。規制当局への個別症例安全性報告に必要な「通信テスト」の支援実績も多数あり。また、安全性情報管理システムとの連携実績あり。



■ 開催日時

2016年4月22日（金） 11：00～12:00

■ 申込みサイト

<https://ctc-form.jp/public/seminar/view/458>

■ 会場

インターネット上でのWebセミナーの為、ご来場は不要です。
ご使用中のPCよりアクセスして下さい。
アクセス方法はお申込み頂いた後、メールにて後日連絡致します。
音声は電話またはパソコンでお聞き頂けます。

■ 申込み期間

開催日前日まで

■ セミナーの内容

- ① Axwayのご紹介と世界での利用状況
- ② 日本のE2B(R3)に完全対応
- ③ CTCLSとしてのサービスのご案内

■ 主催

CTCライフサイエンス株式会社

■ 費用

無料（事前登録制）

■ 本件に関するお問合せ先

CTCライフサイエンス株式会社 営業第2部

ls-marcom@ctc-g.co.jp

03-5789-2340